

# 市長から市民のみなさんへ

## 1月から燃やせるごみの袋が新しくなります

1月から燃やせるごみの袋が新しくなることについて、再度、お知らせしています。なお、古い袋には、証紙シールを貼っていただければ今までどおり使用できます。(4ページの記事をご参照してください)

現在、開会の12月議会にごみ関連の施設整備にのみ使い道が限定される基金の設置条例案を提案しています。燃やせるごみ袋の販売代金だけでなく、資源ごみの売り上げなどもこの基金に貯めていき、施設の新設、補修などにかかる経費に充てる予定にしています。

また、今回のごみ有料化には、ごみ排出量の削減を地球温暖化防止に結びつけて行こうというもう一つの目的があることについては、このコラムでも以前、お話ししたとおりです。関連して、市長から市民のみなさんへ、「ごみを出すときは、水分をよく切ってください」とお願いをさせていただきます。ごみの一つひとつはわずかな量かもしれませんが、市全体でみると、焼却に使う重油の相当量の削減となるからです。ご協力をお願いします。

## 2008年は「拡」の1年でした

前ページ記事にありますように、早いもので今年も1年を振り返る時期となりました。10大ニュースの項目を確認しながら、あっという間に過ぎ去った1年の時の早さに驚くのは毎年のことですが、今年は特にその感を強くしているところ です。

10大ニュースの一つに市民団体などが中心となって設

## 対話の日

【いずれの会場も19:00から】



12月25日(木)寝太郎町公会堂

1月 8日(木)大休団地自治会館

立した地球温暖化防止の取組みをあげました。マイバグ運動、緑のカーテン事業など、市民と行政の"協働のまちづくり"を言葉の上だけでなく、実際に行動に移したものと大いに評価されるものであります。

今年は、市民憲章の「このまちの未来のために汗を流します」の一文が表す、"市のために自分は何ができるだろう"という考え、想いが市民へ"拡がり"、それが形となった、実り多き一年だったように思います。市民だけでなく、市外の方からも、ふるさと納税(サポート寄附)を通じて、ふるさとを想う人々の善意の輪の"拡がり"がはじまっています。

「夜明け前」と名付けた平成20年度予算、算定方法の変更があったとはいえ、実質公債費比率は、平成22年度には"青信号"の18%以下にまで改善する目処もたちました。しかし、まだまだ予算を許す財政状況ではありません。21年度に「夜明け宣言」をするまでには至らないでしょうが、やがて訪れるであろう、"夜明け"の時のための準備をすすめていく1年になりそうです。

みなさんにとって、素晴らしい2009年でありますように祈念します。よいお年をお迎えください。

## 不二輸送機工業株式会社 本社工場に製造工場を増設



▲右から片山隆代表取締役会長、藤井哲男県商工労働部審議監、白井博文市長

不二輸送機工業株式会社本社工場に産業用ロボット製造工場の増設が決定し、11月28日、市役所で協定調印式が行われました。同社は、物流機械メーカーで、本社工場敷地内に、主力製品であるパレタイジングロボットを生産する工場を増設します。操業開始は来年4月を予定しています。

市では今後も地域経済の活性化のため、積極的に企業誘致活動に取り組んでいきます。

【不二輸送機工業株式会社】(本社) 山陽小野田市東高泊2327番地1(設立)昭和19年4月(資本金)4億9,000万円